



広報サポーターだより

中国人研修生も家族の一員!

皆さんこんにちは。広報サポーターの朝倉です。中国からの農業研修制度が始まって13年。現在、市内では約470名の研修生・技能実習生たちが、キャベツや菊、畜産などの各分野で活躍しています。

今回は、農業技術の習得だけでなく、日本語や日本の文化などを学び、地域の方々と触れ合いながら頑張る姿を、研修生たちの生の声でご紹介します。



広報サポーター
朝倉登喜子



▲お正月…呉小麗さん(写真:右から2人目)

「日本では、お正月を新暦でお祝いしました。みんなでいろいろな味の餃子や中国料理をたくさん作りました。餃子作りは楽しくて、時間がたつのを忘れてしまいました。みんなそろって温かい料理を囲み、お正月を祝うのは、和やかで楽しい生活です」



▲七夕祭…胡慧さん(写真:中段右端)

「日本の七夕祭は中国とは違いますが、願いごとを祈るのは同じです。仕事が終わってから、`家庭のみんなお元気で、`仕事も上手いきますように、などと願いごとを書いた短冊を、一枚一枚心を込めてササにつるしました。皆さんも、七夕の日は家族の健康や仕事のことなど、思い切りお祈りしませんか」



▲花火会…趙紅蓮さん(写真:右)

「夕方、子どもたちが、ちょうちんを竿に掛け、バケツやろうそく、いろいろな花火などをそろえました。さあ花火会の始まりです。花火がはじけた瞬間に、私たちが子どものころのように無邪気になりました。楽しい気分のまま、子どもたちと仲良く写真撮影。日本の子どもたちと一緒に花火会ができて、うれしかったです」